

## 武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.12.17-2010.12.24

2010年12月18日付け「大楚ネット」より

### 今年湖北省の GDP は 1.5 万億元近く、来年の投資総額 1.3 万億元

湖北省の GDP は 2008 年に初めて「1 兆元」に達したが、今年はさらに 1.5 兆元近くにまで延びる見込みである。昨日、湖北省発展及び改革大会が武漢にて行われ、第 12 次 5 ヶ年計画実施期間及び来年の湖北省経済発展の主な方向性と目標が明確された。

湖北省の経済発展は著しく、第 11 次 5 ヶ年計画実施期間中、湖北省の固定資産投資累計額は 3.2 兆元に達する見込みである。これは「第 10 次 5 ヶ年計画実施」期間中の 3.2 倍であり、新中国成立以来 56 年間の総額よりも 1.2 兆元多い。

また 5 年間の平均経済成長率は 13.8% に達する見込みであり、これは投資額の増加によるものである。

今後 5 年間、総投資額の増加を前提として、枠組を調整するという方向性は変え、来年の投資総額については、1.3 兆元を突破するよう力を入れる。

2010年12月20日付け「大楚ネット」より

## 武漢市タクシー業界は車体の色を赤で統一する歴史が終わる

武漢市乗客管理处の通知によると、凱旋タクシーは会社ごとに「青リンゴの緑色」、「空の青色」、「薄荷の緑色」、「レモンの黄色」、「ミルクコーヒーの茶色」、「みかんのオレンジ色」の6色に車体の色が異なるタクシーを次々と登場させ、従来からの車体の「国旗の赤」に加えて7色する。この「色分け経営」は競争システムの導入を意味する。乗客はサービスが良く、不当運賃請求や乗車拒否を行わないタクシー会社を車体の色により識別し、選択することができる。

2002年、華昌タクシー会社と大通タクシー会社はそれぞれ「空の青色」と「レモンの黄色」の車体のタクシーを走らせ、それまで赤色しかなかったタクシーに新風を吹き込むとともに、各自のサービス理念を定め、乗客の評価をうけられるようにした。以来8年経つが、両社のサービスの質は乗客から好評を得ている。

凱旋タクシーの新しいタクシー1500台が登場する時期に合わせ、華昌、大通、盛源、聯海、国興など5社の比較的規模が大きなタクシー会社はそれぞれタクシーの車体に専用色を用い、乗客の評価を自ら受ける。